

## まちづくり提言の公表（令和3年7月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
行政視察の受入れにかかる土産品の受領について	周南市が行政視察の受入れをする場合に相手方からの土産の受領を辞退することを提案します。理由は以下のとおりです。 ◎相手方は政務活動費の支出が減ることで負担が軽減する。 ◎行政視察の受入れPRは市職員等の公務であるので市民感情として違和感がある。 ◎一般の公務員は市民から土産を受領する慣習はないため、均衡を欠く。 ◎土産の受領の辞退が先進的事例としてアピールできる。 ◎ホームページ上で土産の受領を辞退することを宣言し、相手方に直接辞退する旨伝えることで理解が得られるはずである。 ◎ホームページ上で視察後の礼状の送付は不要としているので、それに加えて土産の受領を辞退することで相手方の負担はさらに減る。	市外から行政視察を受入れる際には、お越しになられる自治体様から視察の協力に対するお心遣いとしてお土産を頂くことはございますが、当然のことながら当方から催促するものではございません。今後は、相手方の事務負担軽減等の観点から、土産品の受領については辞退する旨をホームページに記載するとともに、受入調整をする際にも相手方にその旨お伝えすることにしたいと思います。しかしながら、土産品はその自治体の特産品等、「我がまち」をPRする一手法でもありますことから、持参されるか否かについては、お越しになられる自治体様のご判断に委ねたいと考えます。	議会事務局
徳山大学公立化にかかる市民アンケートの公表について	ホームページ上で徳山大学公立化についてのアンケートを実施していますが、回答件数、賛否、自由記述欄の内容を公表するべきではないですか。	現在までに、市民の皆さまから徳山大学公立化について、市ホームページでの意見募集をはじめ、様々な形で多くのご意見をいただいています。公立化を判断するにあたって大変貴重なものであるため、ご意見のとおり、原則公表してまいりたいと考えており、現在、具体的な公表方法につきまして検討しているところです。	企画課
遠石地区の冠水被害について	遠石地区は以前から排水が悪く、ちょっとした雨でも排水が悪く水が噴き出てしまいます。今回豪雨で大変なことになりましたが、想定外ではありません。以前からの豪雨危険箇所であるため、早急に排水設備を点検、再整備するなど冠水対策を講じてください。	遠石地区は、以前より冠水対策を実施すべき地区として調査を行い雨水排水施設の部分的な改善など行っておりますが、今回は短時間の集中豪雨により大きな浸水被害が発生し大変なご迷惑をおかけし申し訳ございません。この度の降雨時には国道2号と県道下松新南陽線を繋ぐ市道が川のようになりましたことから、早急に現状の雨水排水施設の再調査・点検、冠水対策の検討を行ってまいります。根本的な対策の完了までには相当の期間を要すると思われれます。しかしながら、早期に効果が発現するよう暫定的な対策も含め順次対策を進めてまいりたいと考えておりますのでご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。	上下水道局
職場のおしゃれ・身だしなみの意見と要望について	多くの職場で、男性が茶髪にするのは難しいと感じます。一方で女性は、身だしなみにシビアな公務員や医療従事者、金融や保険会社の社員でも髪を染めている人をよく見かけます。「女性はおしゃれするもの」「男性はちゃらちゃらするな」といった「ジェンダーバイアス」があり、茶髪へのハードルの高さが男女で異なっているのではないのでしょうか。時代とともにファッションやおしゃれは変化しますが、いつの時代でも男女は平等だと思います。以前は「男性は仕事、女性は家事・育児」が当然でしたが、今では働く女性は男性と同じ待遇を求めています。職場のおしゃれや身だしなみもジェンダー平等の視点から見たいのです。男女共同参画の推進や啓発、職員研修などの際に、継続して注目していただきたいです。	市では、男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画し、いきいきと活躍するとともに責任を担う、男女共同参画社会の実現に向けて様々な事業に取り組んでおり、その一環として、職員を対象に研修会や啓発活動などを行い、男女共同参画社会への意識向上に努めております。今後も、研修会をはじめ様々な取組により多様性を認める男女共同参画社会の実現を目指してまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。	人事課・人権推進課
徳山大学について	徳山大学公立化の意義は何ですか。納得のいく説明をしてください。	徳山大学の公立化を推進する判断理由として、市では以下の4点を考えております。 ①公立大学としてのブランド力や学費の負担の軽減によって志願者が増加し、意欲ある優秀な人材の確保や大学の質の向上が図られるとともに、地元進学先、受け皿の確保につながるため。 ②大学を生かしたまちづくりにより、本市ならではの人口減少対策や地方創生といった取組効果が期待できるため。 ③地域に開かれた大学として、公開講座や学び直しとしてのリカレント教育の推進により、市民の地域活動や生涯学習の充実に寄与できるため。 ④安定的な学生の確保や国の地方交付税による財政措置により、自立安定的な大学経営が可能となるため。 市では、これまで約2年間にわたり、アンケート調査や有識者検討会議の開催、また、シンポジウムや出前トーク、市民説明会等を開催して、市民の方々との意見交換を重ねてまいりました。これらを総合的に勘案した結果、市としては徳山大学の公立化を推進することといたしました。	企画課